

各地域における青少年育成事業・青少年の活動の様子

真室川町

人と地域と自然が輝く
協働のまちづくり

子ども遊び体験天国『えんにち』

「子ども遊び体験天国『えんにち』」を開催してから、今年で16回目を迎えました。近年少なくなっている子どもの体験活動と異世代交流の機会の充実が、子どもたちの健やかな成長につながることを願って、多くの団体の参画のもと開催しています。今回も、「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の独自事業として、青少年育成推進員の企画により



「もちつき体験」を実施しました。会場内の子どもたちはもちろん、新庄神室産業高校真室川校の生徒たちも、杵を使った餅つきを体験して楽しみました。あんこ餅やきなこ餅として振る舞われ、多くの来場者が舌鼓を打ち、幅広い世代での交流が図られました。他にも、クラフトや昔遊び、科学実験、射的、水ヨーヨー釣り、フリーマーケットなど体験コーナーは多岐にわたり、ステージでは大抽選会も催され、子どもたちの楽しそうな歓声が響き渡りました。

次代を担う青少年の健全育成のためには、地域全体で子どもたちを見守っていくことが重要です。「えんにち」で築いた繋がりを活かしながら、青少年育成推進員を中心に、いじめ・非行の防止・根絶に向けて、今後も取り組みを継続していきたいと考えています。

鮭川村



「清流」と「きのこ」と心のふる里

鮭川村の青少年育成活動

鮭川村青少年育成推進員会は、現在10名で活動しております。年度当初の推進員会で具体的な活動計画を協議します。最近は大きな事業を行っていませんが、長年継続している活動として「巡回指導」があります。

これは新庄市内の高校生の通学路にあるコンビニ等を巡回して高校生の様子を見て回る活動です。「指導」という言葉を使っておりますが、最近では問題行動も見かけず、出会った高校生へ激励の意味をこめて声をかけております。声をかけられた高校生も笑顔で応答してくれ、推進員と高校生で会話が盛り上がることも多くあります。特に村内出身の高校生と会ったときはなおさらです。こうしたコミュニケーションを重視した取り組みは、上からの「指導」よりも効果が大きいと感じています。

また、他市町村の青少年育成推進員との交流会を開催し、情報交換と連携を深めています。

青少年と一緒に活動をするにより、コミュニケーションを深めることが最大の目的です。大人と青少年の垣根を取り払い、お互いを理解することが青少年の健全育成につながると思います。



大蔵村

むら美しく・人いきいき
キラリおくら

小学生自然体験事業「おくら葉山塾」

平成10年に始まった「おくら葉山塾」は、今年度で20年を迎えました。この間、たくさんの子もたちが葉山塾で自然の恵みのありがたさ、仲間と協力することの大切さ、青少年育成推進員をはじめとする大人とのかかわり方を学び、立っていきました。第1回の参加者は30歳ほどになっており、子どもを連れている姿を見ると、「あの時の子がこんなに立派になったんだなあ。」と青少年育成推進員のみなさんは感慨深く感じるとおっしゃいます。

今年度は、参加児童9人で2泊3日でさまざまな体験を行いました。なかでも葉山登山は、みんなでいっしょに頂上という目標をめざす体験を通して、仲間と協力することや達成感を共有することのすばらしさを、子どもたちに感じてもらうことができた活動になったのではないかと思います。

参加児童の減少という課題も抱える中、次世代を担う人材育成のため、21年目の来年度はどんな葉山塾を作り上げていくか青少年育成推進員と共に知恵を出し合い、より良い事業になるよう取り組んでいきたいと考えています。



戸沢村

豊かな自然に四季のかおりと
舟唄のこだまする村

異文化体験を通しての成長

神奈川県中井町と戸沢村では、「相互訪問を通じて、互いの町村の人や自然、歴史、風土、産業等貴重な異文化やホームステイ等の生活体験を通して、積極的な行動力と広い視野を持ち、思いやりのある豊かな人づくり」をねらいとして「ふれあい交流事業」を実施し、27回を迎えました。

今年は、7月29日からの2泊3日の日程で中井町を訪ね、中井メガ・ソーラー発電所、新江ノ島水族館、江ノ電を乗り継いで鎌倉の大仏、そして医療機器のテルモ等たくさんの体験をしました。

本村からは、男子4名・女子4名の計8名と引率者6名が参加。親子説明会、結団式を経て、心身ともに準備し交流に臨みました。交流先の児童との初対面に向けて、東京駅へと近づくにつれて緊張が増す子どもたちでしたが、歓迎式での拍手や笑顔、見学や食事を通して、緊張が楽しさ変わっていく様子、そして思い出がたくさん作文に綴られていました。

再会は、年明けの1月。「冬に戸沢村に来たときは、中井町の人を温かく迎えて戸沢村のいい所を紹介したい。いい思い出を作りたい。」等、その心構えはもうすでにできているようでした。

